

# 校長便り 24号

ひ：人や生き物、持ち物を大切にし  
が：頑張り（目標に向かって）  
し：幸せになる野市東小（みんなが）

## 3学期スタート！ 校長便りをリニューアルしました

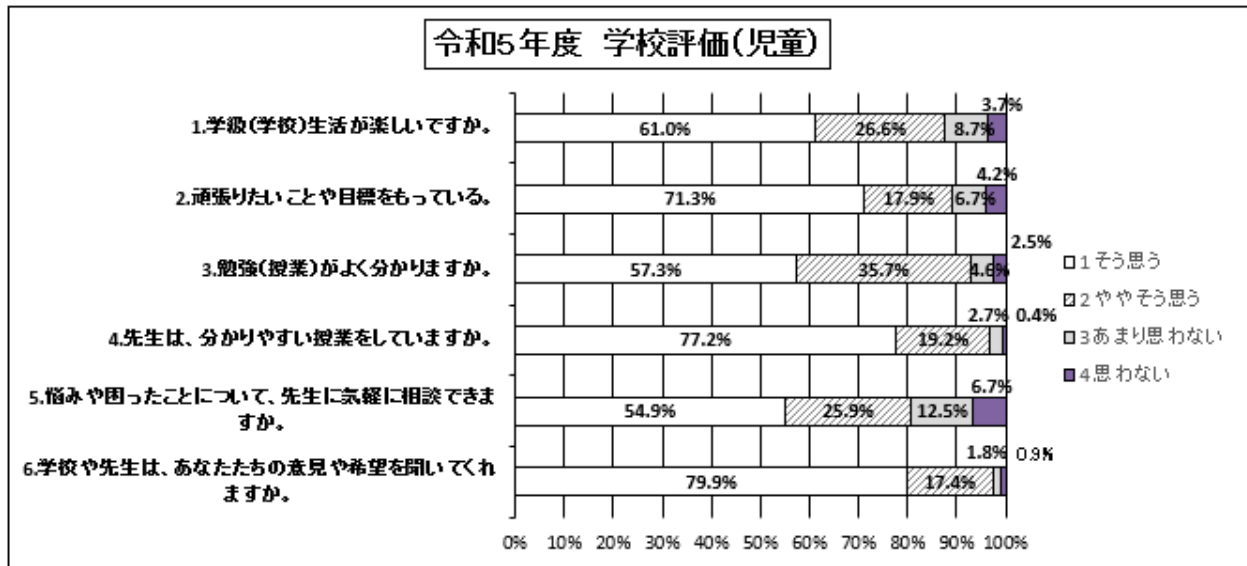
1月9日(火)より3学期がスタートしました。体調不良等による欠席者は数名いましたが、楽しいお正月を過ごした子どもたちの笑顔あふれる始業式を行うことができました。

校長の話の冒頭で、新年早々の能登地震と羽田空港事故の話をしました。全校児童が、真剣に地震のことについて耳を傾ける姿が見られました。「地震や事故で亡くなられた方や家族のことを思い、早く町が元通りになりますように、人々が安心した生活ができますように」と、みんなで黙祷（香南市内全小中学校実施）を捧げました。明日は我が身です。地震に遭遇する確率は、学校にいるときよりも家にいるときの方が高いことを子どもたちに伝えました。家庭での地震への備えをする必要があります。まずは、寝室や居間などの危険物を除く、倒れない（飛ばない）ようにするなど、対応をしていきましょう。

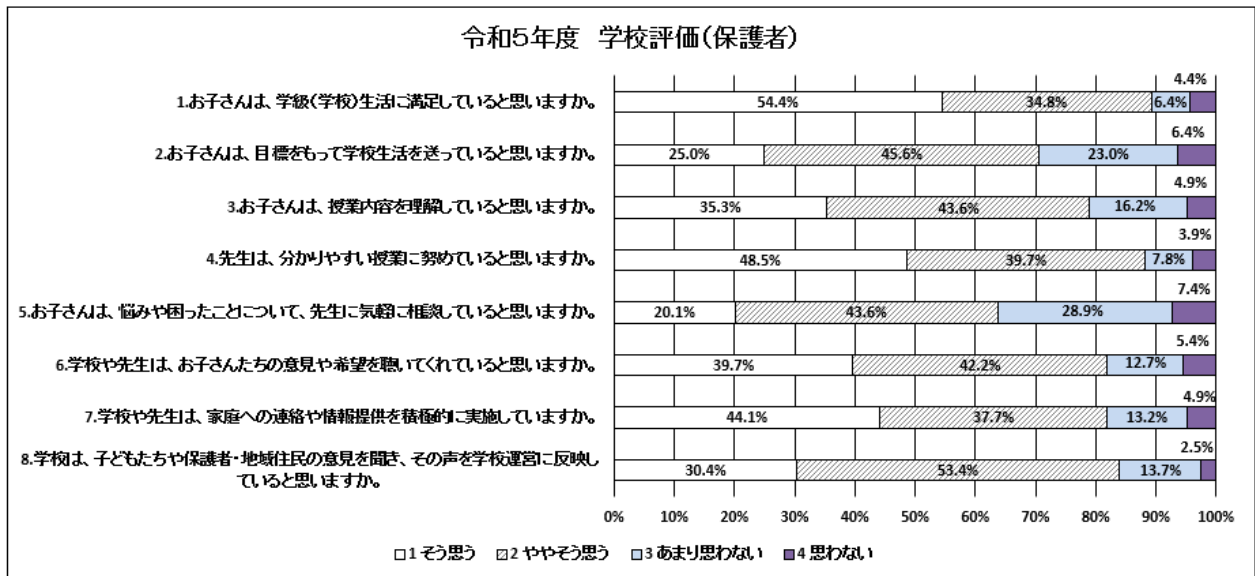
そして、昨年末に大谷翔平選手から届いたグローブを紹介して、各学級を回して手にはめるなどしました。また、柔らかいボールを使ったキャッチボールなど、校長が休み時間にしてあげました。初めてキャッチボールをした子どももいました。「野球しようぜ」という大谷選手からの言葉もいただいていますので、記念品（飾り）として置くのではなく、使い込んでマイグラブを買いたい子どもが出てくればと思います。

## 学校評価（児童・保護者・教職員）の結果について ①

昨年末は、学校評価へのご協力ありがとうございました。家庭数でいうと100%以上の回答率、すぐへの登録者の回収率は約82%でした。2回にわたって、三者のアンケート結果をお知らせします。

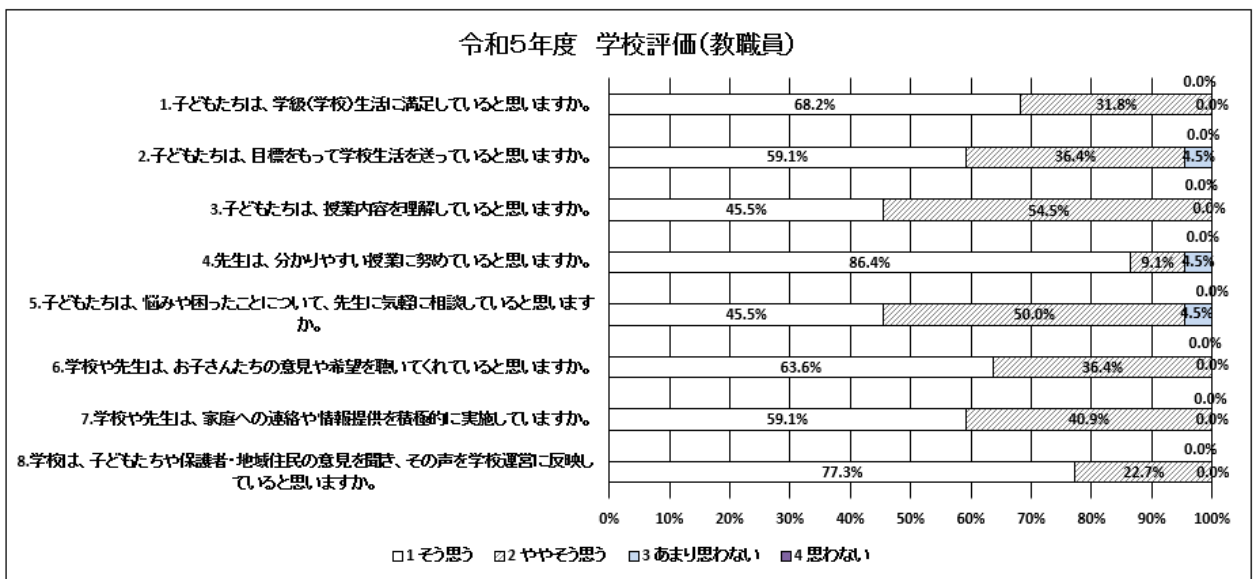


今年度も、3の「勉強がよく分かりますか」と4の「先生は、分かりやすい授業をしていますか」、6の「学校や先生は、あなたたちの意見や希望を聞いてくれますか」の項目は、90%強の子どもたちが肯定的評価（4・6は強肯定「そう思う」も8割程度）となっています。しかし、5の「悩みや困ったことを気軽に相談できますか」は、約20%の子どもが否定的な回答となっています。また、1・2の項目の肯定的評価についても9割弱に下がっています。決して低い割合ではありませんが、困っている（悩んでいる）子どもたちに寄り添いながら授業や諸活動に取り組んでいきます。全項目9割以上の肯定的評価を目指し、子どもたちと共に伸びる野市東小学校となるよう努めます。



保護者向けアンケートの結果は、1.「学級（学校）生活に満足していると思うか」と4.「分かりやすい授業に努めていると思うか」の項目は90%弱の肯定的評価となっています。子どもに関する3.「授業内容をよく理解していると思うか」と、学校（先生）に関する6.「子どもの意見や希望を聴いてくれていると思うか」、7.「家庭への連絡や情報提供を積極的に実施しているか」、8.「保護者や地域の意見を聞き、学校運営に反映しているか」の項目は80%程度の肯定的評価となっています。どの項目も、強肯定の割合は、昨年よりもほとんどの項目で少し高くなっています。

一方、子どもに関する2.「目標をもって学校生活を送っているか」は70%程度、5.「悩みや困ったことを先生に気軽に相談していると思うか」は60%強の肯定的回答でした。2と5の項目については、子どもと保護者との意識に少し差があるようです。子どもや保護者の話に、全く耳を傾けない教職員はいません。本校教員は、常に子どもの学習の進捗状況だけでなく、言動や表情など、常にアンテナを張り、悩んだり困っていたりしている子どもに対して、早めに支援や指導ができるように心がけています。とはいえ、なかなか思いを打ち明けられないお子さんもいますので、困っていることなどがありましたら、各担任等まで連絡をお願いします。



教職員の評価です。甘いと思われるかもしれませんが、校長を含め本校教職員は、子どもたちのことを大変肯定的に評価しています。毎日この仕事ができるのも、本校の子どもたちと保護者・地域の皆さんのおかげです。次号は、学校に取り組んでほしいことやご意見等についてお伝えします。